

純真学園図書館だより

Library Letter Vol.11 No.1

June 2020

★ 特集

図書館OPACリニューアル

図書館OPACが
リニューアルしました

2020年4月より純真学園図書館のOPAC画面がリニューアルしました。

【トップ画面】



【資料を探す】または【資料検索】から資料の検索ができます。

図書館の利用方法や、医中誌Webなどのデータベースの利用、看護師国家試験問題Webや電子ジャーナルの利用は、【純真学園図書館メニュー】からご利用ください。

※OPAC（オパック、オーパック、Online Public Access Catalog）とは利用者に供されるオンライン蔵書目録のこと



図書館Q & A 図書館利用のお役立ちコーナー

Q: 新型コロナウイルス感染防止対策はどうなっていますか？

A: 現在、図書館開館に伴い、マスク着用、手指消毒や、館内の換気、除菌を行っています。また座席を減らし、間隔をあけて座ってもらうなど、密にならないようにしております。ご協力をお願いいたします。

●●● お知らせ ●●●

＊6月の開館時間

【月-金】 9:00 ～ 19:00 (短縮開館)

＊6月の休館日

定期休館日 6月30日(火)

臨時休館日 6月6日、13日、20日、27日の土曜日

★毎月月末日は定期休館日です(土日祝日の場合は前日)。

★定期休館日は返却のみ受付ます。



図書紹介

「面倒だから、しよう」

渡辺和子：著 幻冬舎

ノートルダム清心学園理事長でシスターをされていた渡辺和子さんが書かれた書籍です。

「この世に”雑用”という名の用はない。用を雑にした時に生まれる。」や「あたりまえのことがありがたいものだと思えば、幸せの度合いは高まる。」というような、これから生きていくうえで人生訓となるような言葉がいっぱい詰まっている本です。

新書なので構えずに読めるので、自分の心に響いた一文があれば、ノートなどに書き留めて自分の人生訓にするとあなたの人生も明るいものになるかもしれませんね。

配架場所…純真学園図書館：カウンター

雑誌紹介

「Newsweek 日本語版」

CCC メディアハウス

タイトル名は聞いた事があるけれど、実際読んだ事のない人が多いかもしれませんね。

最新の時事問題に対して日本人とは違う視点で書いてある記事が多く、意外な視点から書かれている記事もあり、タイムリーな話題についてとても興味深く読める雑誌である。最新号は新型コロナウイルスに関する特集が2回組まれました。

日本語版なので、気軽に読めると思います。

配架場所…純真学園図書館：雑誌



館長室から こんにちは

この4月に図書館長職を拝命した。「山ほどの本に包まれ我逝かん」と日頃より豪語(?)している本好きの私は、講義の合間を縫っては、嬉々として地下一階に足を運んでいる。

自分なりに大学図書館のプランに夢を膨らませていた私にも、コロナ禍は容赦なく襲い掛かった。先の見通しが立たない今回の災いに振り回された4～5月の図書館を、学生の皆さんは想像できましたか? (多分、毎日の生活や学校から送られてくる課題に精いっぱい、それどころではなかったとは思いますが……)

ともかくにも、皆さんの来館を待ち続ける図書館にとっては寂しい春となった。特設の「新刊コーナー」読む人も来ないのに毎日せせと届く新聞五紙。これらが、ただただ積ん読(ツンドク)となり月日は流れていくのだから……。もちろん、読まれることもない数万冊の本の群れは、じっと我慢して、皆さんの来館を待っていた。

そしてようやく6月1日。開館日がやってきた。早速この日に向けて、館内各所の滅菌・消毒・透明パネル設置・利用者の間隔空け表示・図書館パティオの雑草取り、と、開館前日まで館員総出で皆さんの安全・安心・快適な図書館利用に向け、準備に精を出した。

あとは、このままコロナ禍が終息することを願いつつ、次なるプランである来館者数倍増・各自の来館最低週1回を目標に、新たな企画と戦術に思いめぐらす日々である。

平嶋一臣